

各加盟団体代表者様

公益財団法人群馬県スポーツ協会
理事長 松本博崇

緊急事態宣言に伴う活動の対応について（8月20日以降）

平素より、本協会の諸事業につきまして格別の御理解・御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

今般、8月20日（金）より「緊急事態宣言」が適用されることが決定され、県教育委員会より部活動の対応について別紙（写）のとおり通知がありました。

つきましては、**少年（高校生以下）の活動**は学校における部活動と同様に扱うこととして、下記のとおりとしますので、御協力いただけますようお願いいたします。

記

活動について

- (1) 8月20日（金）から9月12日（日）の期間の活動は休止する。
9月13日（月）以降の活動は、感染状況を見極めた上で慎重に判断し、改めて通知する。
なお、引き続き全国大会、関東大会及びその予選会等への参加は認める。
- (2) 全国大会、関東大会及びその予選会等に参加するための活動については、感染防止対策を徹底した上で、保護者の同意を得た上で必要最低限の活動を認める。
ただし、活動を担当する指導者のみで実施を判断するのではなく、団体として責任を持ってその必要性を協議し、慎重に判断する。

— 参考 —

- ・群馬県ホームページ https://www.pref.gunma.jp/05/am49_00064.html
「県内の新型コロナウイルス感染症に関する情報」群馬県ホームページに随時更新されますので常に新しい情報を得るようお願いいたします
- ・群馬県「社会経済活動再開に向けたガイドライン（改正版）」に基づく警戒度及び要請について
- ・緊急事態宣言に伴う分散登校の実施等について（写）

競技スポーツ課 小林
電話：027-234-5555
E-mail:t-kobayashi@gunma-sports.or.jp



高教第31.1-19号
令和3年8月17日

県立学校長 様

群馬県教育委員会事務局

高校教育課長 天野 正明
特別支援教育課長 町田 英之
健康体育課長 橋 憲市

緊急事態宣言に伴う分散登校の実施等について

強い感染力を持つとされる変異株の広がり等により、全国的に新型コロナウイルス感染症の急激な感染拡大が続く中、本県においてもこれまでにない深刻な状況となっており、今般、8月20日（金）から9月12日（日）までの間、本県を含む7府県が新たに緊急事態宣言の対象地域に追加されました。

本県では、7月下旬から感染者が急増していますが、10代を含む若年層にもこれまでにない速度で感染が広がっており、夏季休業中も、教職員の感染や主として家庭内感染に起因する児童生徒の感染が連日報告されるなど、これまでとは違った感染の局面にあると思われれます。夏季休業明けには、一定の期間を家庭等で過ごし、外部の者との接触もあったことが考えられる教職員や児童生徒が一斉に登校することから、更なる感染の急拡大も憂慮される状況にあります。

については、学校における感染の拡大を未然に防止する観点から、2学期の始業式当日から9月12日（日）までの間を「健康観察期間」として、全ての県立学校において分散登校を実施することとしますので、下記の事項に留意の上、感染防止に対する教職員及び児童生徒一人一人の意識を一層高めるよう、改めて指導願います。

なお、今回の趣旨等を説明した保護者宛て通知を添付しますので、配付願います。

記

- 2学期の始業に備え、夏季休業中の教職員及び児童生徒の検温や健康観察を徹底し、休業中における健康観察表等の記録を確実に行うよう指導する。
- 2学期の始業後、分散登校を実施する9月12日（日）までの間を特に「健康観察期間」と位置付け、本人及び家族の体調に異変が認められる場合は、教職員の出勤や児童生徒の登校を控えるよう指導する。
- 登校時の検温を含めた感染防止対策を再度徹底するとともに、体調が優れない場合には、速やかに主治医等に相談し、出勤や登校を控えたり、外部との接触を行わないようにしたりするなど、感染拡大の防止を図るよう、改めて指導する。
- 始業式当日は、児童生徒を2グループに分割し、午前と午後の2回に分けて登校させるなど、教室内に多くの児童生徒が参集しないよう工夫する。
- 分散登校については、例えば、学年又は学級を2～3グループに分け、曜日や時間を指定して週2～3日程度登校させるなど、各校の実態を踏まえた実施方法を工夫する。
- 変異株については、これまでのウイルスに比べ感染力が強いとされることから、教職員・児童生徒に、マスクの正しい着用等を含めた基本的な感染防止対策を徹底するとともに、教室等使用する施設の換気に特に留意する。

- 7 高等学校で分散登校を実施する場合、1人1台パソコンを活用して、家庭で学習する生徒に対して学校で行われている授業を同時に配信するなど、オンラインによる学習支援等を行う。
- ① オンラインによる学習支援等を実施する場合には、別紙「分散登校時におけるオンラインでの学習・生活支援について」を参照し、適切に実施する。
 - ② 実習や実技を伴う科目については、学校の施設・設備を使う学習活動と家庭でも実施可能な学習活動を計画的に割り振るなど、適宜工夫して実施する。
 - ③ 令和3年3月11日付け高教第311-87号で通知したとおり、非常時のやむを得ない場合に、オンラインを活用した学習の指導（オンラインを活用した特例の授業）を実施した場合には、生徒指導要録の「指導に関する記録」の別記として記録することに留意する。
 - ④ インターネット環境が不十分であるなど、家庭での学習が困難な生徒については、分散登校時以外にも学校で学習が行えるようにする等、学習の継続がなされるよう配慮する。
 - ⑤ 分散登校の趣旨を踏まえ、生徒が、家庭において確実に学習することができるよう、ホームルームで生徒の状況を観察したり、授業ごとに双方向のやりとりを行ったりするなどして、生徒の学習状況や生活状況、所在等を把握できるようにする。
- 8 長期休業明けに児童生徒の命に関わる重大な事案が発生しやすい傾向があることを踏まえて、きめ細かな生徒観察を行うとともに、必要に応じて面談を行うなど、児童生徒の僅かな変化も見逃すことのないよう配慮する。
- 9 2学期に予定している学校行事等については、感染リスクの高い活動を避けるとともに、実施する場合は、感染防止対策を十分に講じた上で行う。
- 10 県内でも学校における教職員の集団感染が発生していることから、教職員間における感染防止に十分留意するとともに、ワクチン接種を希望している教職員が可能な限り早期に接種することができるよう配慮する。
- 11 感染者が発生した場合は、保健所や教育委員会、学校医と連絡し、感染拡大防止に向けた対応を速やかにとることができるよう、対応の手順等を改めて教職員間で確認しておく。
- 12 8月20日（金）から9月12日（日）の期間の部活動は休止とする。9月13日（月）以降の部活動は、感染状況を見極めた上で慎重に判断し、改めて通知する。なお、引き続き全国大会、関東大会及びその予選会等への参加は認める。
- 13 夏季休業中の教育活動については、上記の内容に準じるものとし、感染リスクの高い活動を避け、多くの児童生徒が一度に参集することがないように工夫して行う。

【担当】

高校教育課	電話	027-226-4645
特別支援教育課	電話	027-226-4656
健康体育課	電話	027-226-4711

分散登校時におけるオンラインでの学習・生活支援について

高校教育課

1 事前準備

分散登校に備え、Google Classroom（以下「クラスルーム」という。）からGoogle Meet（以下「Meet」という。）を利用できるよう、「県立高校等 ICT 活用モデル～Gunma Model Basic～」の該当ページを参照し、以下の準備をしておく。

<手順>

- ① 講座（授業クラス）ごとにクラスルームの「クラス」を作成し生徒を参加させる。（p26 基本操作 1-1 参照）
- ② クラスルームのストリームのページで「Meetのリンクを生成」でリンクを生成した後、「生徒に表示」をONにする。（p33 基本操作 3-2 参照）

2 授業等のオンライン配信について

分散登校によって、家庭で学習する生徒に対しては、学校で行われている授業をMeetを利用して配信し、家庭でも同時に視聴できるようにする。

<手順>

授業担当者

- ① クラスルームのストリームのページで「Meetのリンク」からMeetを起動する。
- ② 教卓の上にChromebookを置き、黒板を映して授業を行う。
 - ・画面に映る黒板の範囲を確認し、黒板に印を付けておくことよい。
 - ・2台のChromebookを利用して黒板を左右半分ずつ映すと、黒板の範囲を気にせずに授業を行うことができる。

家庭にいる生徒

- ① 授業前にオンライン配信の有無や課題等の連絡事項をクラスルームで確認する。
- ② オンラインでの配信がある場合には、クラスルームのストリームのページで「Meetのリンク」からMeetを起動する。
- ③ 視聴中に意見や質問がある場合には、チャット等を利用する。

3 その他の学習支援について

- ・クラスルームを利用して学習内容や課題等の連絡をする。
- ・MeetやGmail等を使って生徒が質問できる場を設定する。
- ・スタディサプリの動画やテスト等を活用する。

4 生活支援について

- ・クラスルームを利用して生徒の状況を把握する。
- ・Meetを利用してオンラインでのHR等を設定し、教員及び生徒が互いに顔を合わせる機会を確保する。
- ・悩みや不安を抱える生徒の早期発見・早期対応を組織的に行うことができるよう、Formを利用したアンケートやMeetを利用した個人面談を実施する。
- ・「24時間子供SOSダイヤル」や「ぐんま高校生オンライン相談」をはじめとする各種相談窓口について、オンライン配信等を利用して周知する。
- ・SNSによるトラブルの未然防止を図るため、ICTリテラシーに係るメッセージ等を定期的に配信する。

※ 上記のほか、「県立高校等ICT活用モデル～Gunma Model Basic～」等を参照の上、各校で必要な指導・支援を適切に行う。



(公印省略)
令和3年8月17日

保護者 各位

群馬県教育委員会
教育長 平田 郁美

緊急事態宣言に伴う分散登校の実施及び保護者の皆様へのお願について

保護者の皆様には、日頃より本県の教育活動に対する御理解・御協力を賜り感謝申し上げます。
現在、10代を含む若年層にも強い感染力を持つとされる変異株の広がり等により、全国的に新型コロナウイルス感染症の急激な感染拡大が続いており、本県においても、これまでにない深刻な状況にあります。こうした状況を踏まえ、この度、8月20日(金)から9月12日(日)までの間、本県が緊急事態宣言の対象地域となることが決定されました。

御家庭におかれましては、夏季休業中も感染対策に御留意いただいていることと思いますが、児童生徒が一斉に登校する夏季休業明けの感染の急拡大を未然に防止する必要があると判断し、県立学校において、2学期の始業式当日から9月12日(日)までの間を「健康観察期間」として、分散登校を実施することとしました。保護者の皆様には御負担をお掛けいたしますが、何とぞ御理解、御協力いただきますようお願いいたします。なお、分散登校の詳細については、各学校より改めて御連絡いたします。

つきましては、夏季休業中及び2学期始業後の過ごし方について、下記のとおり保護者の皆様に改めてお願いしたいと存じますので、引き続き、御理解・御協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

記

1 家庭における学習について

分散登校期間中においても、1人1台パソコンを活用して、家庭で学習する児童生徒に対して学校で行われている授業を同時配信したり、学習の指示や課題配信を行ったりするなど、オンラインによる学習支援等を行いますので、計画的に学習に取り組むよう御指導をお願いいたします。また、家庭でのインターネット環境が不十分である場合など、オンラインによる学習支援に不安がある場合は、遠慮なく学校に御相談ください。

2 家庭における感染症対策について

- ・夏休み期間中に、児童生徒や保護者の感染件数が急増しており、その多くは家族間における感染となっています。つきましては、御家族も含め、体調管理に努めていただくとともに、体調が優れない方がいる場合は、速やかに主治医等に相談し、登校を見合わせたり、外部との接触を控えたりするなど、感染拡大の防止に改めて御協力をお願いいたします。
- ・食事の際の感染事例も多いことから、御家族も含め、引き続き、食事の際の感染防止の徹底に御協力いただきますようお願いいたします。なお、友人との外出や会食、カラオケ等により、児童生徒が感染した事例も多いことから、お子様に、マスクを外しての会話や会食を控えるよう、御家庭におかれましても、引き続き御指導をお願いいたします。
- ・現在、感染力の強い変異株による感染が拡大しています。御家庭におかれましても、換気やマスクの適切な着用に御留意いただきますようお願いいたします。
- ・ワクチンの接種券をお持ちで接種の御検討をいただいている保護者の皆様におかれましては、市町村の接種計画に基づく接種に加え、県央ワクチン接種センター及び東毛ワクチン接種センターにおいてワクチン接種を行っていますので、家庭内での感染防止を図る観点からも、早めの接種についてお考えいただきますようお願いいたします。

(公印省略)
ス振第136-36号
令和3年8月18日

(公財)群馬県スポーツ協会
理事長 松本 博崇 様

群馬県地域創生部スポーツ局
スポーツ振興課長 花崎 晋

群馬県緊急事態宣言措置の実施について (依頼)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の取り組みについて、御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、令和3年8月17日に開催された第57回群馬県新型コロナウイルス感染症対策本部会議において、別添のとおり、群馬県緊急事態宣言措置を行うことが決定されました。

つきましては、県民及び事業者の皆様に対し、同措置に基づく要請を行いますので、貴協会におかれましては、御承知おきいただくとともに、各加盟団体等に対し周知いただきますようお願いいたします。

今後も、国や県の対応方針等、随時、情報提供を行いますので、御協力いただきますようお願いいたします。

－緊急事態宣言措置の主な内容－

(1) 緊急事態措置の実施期間

令和3年8月20日(金)から9月12日(日)まで(24日間)

(休業要請及び営業時間短縮要請期間：同上)

(2) 緊急事態措置の区域等

県内35市町村

※詳細は『群馬県緊急事態措置』を御確認ください。

担 当：スポーツ振興課 企画調整係 岡崎
T E L：027-226-2079
F A X：027-243-3211
e-mail：okazaki-ma@pref.gunma.lg.jp

群馬県緊急事態措置

令和3年8月17日

群馬県

新型コロナウイルス感染拡大防止のための 群馬県の緊急事態措置 (8月20日(金)以降の措置)

1 緊急事態措置の実施期間

令和3年8月20日(金)から9月12日(日)まで

2 緊急事態措置の区域等

県内35市町村

3 緊急事態措置の内容

(1) 県民の皆様へ

ア 外出自粛・県外移動等(特措法第45条第1項に基づく要請)

- ・生活に必要な場合を除き、日中も含め、不要不急の外出や移動は自粛してください。
- ・特に20時以降の不要不急の外出や移動は自粛してください。
- ・混雑している場所への外出は自粛してください。
- ・感染防止対策が徹底されていない飲食店等や、休業要請又は営業時間短縮要請に応じしていない飲食店等の利用は厳に控えてください。
- ・不要不急の都道府県間の移動、特に緊急事態措置区域との往来は厳に控えてください。
- ・路上や公園等における集団での飲酒など、感染リスクの高い行動は自粛してください。

イ 感染防止対策の徹底(特措法第24条第9項に基づく要請)

- ・「人と人との距離の確保」「マスクの着用」「手洗いによる手指衛生」をはじめとした基本的な感染対策の徹底をお願いします。
- ・政府専門家会議で示された「人との接触を8割減らす、10のポイント」「新しい生活様式の実践例」、及び新型コロナウイルス感染症対策分科会で示された「感染リスクが高まる「5つの場面」」を参考に、3つの「密」状態を回避するとともに、日々の生活を見直し、新たな感染防止策を実践してください。
- ・感染防止策として、基本的な感染防止対策の実施に加え、換気の実施及び適度な保湿をお願いします。
- ・変異株に対しても基本的な感染防止対策(マスク・手洗い・換気など)が重要であり、更なる徹底をしてください。
- ・飲食店などにおいて大声で話したり、カラオケ、イベント、スポーツ観戦などで大声を出したりすることは自粛してください。
- ・友人、知人を招いてのホームパーティーや大人数での会食、飲み会は自粛してください。

- ・大学や職場等における飲み会については自粛してください。
- ・大学等におけるクラブ活動での感染防止策の徹底をお願いします。
- ・飲食店を利用する場合は、可能な限りテイクアウトの利用をお願いします。
- ・会食などで飲食店などを利用する場合は、座席間隔の確保や換気などの3密予防、従業員や利用者の手指消毒といった感染防止策に積極的に取り組んでいる店舗を利用してください。
- ・接触確認アプリ（COCOA）のインストールやLINE「新型コロナ対策パーソナルサポート」を積極的に活用してください。

（２）事業者の皆様へ

ア 飲食店等に対する要請

- ・飲食店等については、令和3年8月20日（金）午前0時から9月12日（日）午後12時までの間、次のとおり休業又は営業時間の短縮等をお願いします。

<p>対象業種</p>	<p>飲食店等：飲食店（居酒屋を含む。）、喫茶店等（宅配・テイクアウトサービスを除く） ※食品衛生法の飲食店営業許可又は喫茶店営業許可を受けている店舗</p> <p>遊興施設等：バー等で食品衛生法の飲食店営業許可を受けている店舗、カラオケ店 ※ネットカフェ、漫画喫茶を除く（感染防止対策の徹底を要請）</p>
<p>要請内容</p>	<p>（特措法第45条第2項に基づく要請） 【酒類又はカラオケ設備の提供有】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・休業を要請 ※カラオケボックスがカラオケ設備の提供を行う場合も休業要請対象 <p>【酒類及びカラオケ設備の提供無】 ※飲酒の機会を設けないこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・営業時間の短縮を要請（午前5時から午後8時まで） ※本来酒類又はカラオケ設備の提供を行う店舗が要請期間中に提供を取り止める場合も含む
	<p>（特措法第45条第2項に基づく要請）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飲食店等において、特措法施行令第12条に規定される以下の感染防止対策を実施してください。 <p>「入店時や店内における距離の確保など利用者の整理・誘導」、「発熱している方や感染防止対策（マスク、手指消毒など）を行わない方の入場を避けていただく」、「アクリル板の設置や座席間隔の確保など飛沫感染防止の措置」、「手指消毒の徹底」、「マスク着用の呼びかけ」、「換気の徹底」</p>

イ 結婚式場に対する要請

- ・結婚式場については、令和3年8月20日（金）午前0時から9月12日（日）午後12時までの間、次のとおり休業又は営業時間の短縮等をお願いします。

対象業種	結婚式場：食品衛生法の飲食店営業許可を受けている店舗
要請内容	<p>（特措法第45条第2項に基づく要請）</p> <p>【酒類又はカラオケ設備の提供有】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・休業を要請 <p>【酒類及びカラオケ設備の提供無】 ※飲酒の機会を設けないこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・営業時間の短縮を要請（午前5時から午後8時まで） <p>※本来酒類又はカラオケ設備の提供を行う店舗が要請期間中に提供を取り止める場合も含む</p>
	<p>（特措法第45条第2項に基づく要請）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・結婚式場において、特措法施行令第12条に規定される以下の感染防止対策を実施してください。 <p>「入店時や店内における距離の確保など利用者の整理・誘導」、「発熱している方や感染防止対策（マスク、手指消毒など）を行わない方の入場を避けていただく」、「アクリル板の設置や座席間隔の確保など飛沫感染防止の措置」、「手指消毒の徹底」、「マスク着用の呼びかけ」、「換気の徹底」</p>
	<p>（法に基づかない働きかけ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・できるだけ1.5時間以内で少人数（50人又は収容率50%のいずれか小さい方）での開催としてください。

ウ その他の施設に対する要請（詳細は別紙1及び別紙2を参照）

- ・その他の施設については、令和3年8月20日（金）午前0時から9月12日（日）午後12時までの間、次のとおり営業時間の短縮等をお願いします。
- ・施設の種類等については、**別紙1**及び**別紙2**をご確認ください。

種類	要請内容
劇場等	【延べ床面積1,000㎡超】
集会場等	（特措法第24条第9項に基づく要請）
ホテル又は旅館 （集会の用に供する部分に限る。）	営業時間：午前5時から午後8時まで ※映画館での上映又はイベント開催の場合は午後9時まで
運動施設	（法第45条第2項に基づく要請） 例えば人数管理、人数制限、誘導等の、施設に応じた「入場者の整理等」を実施するとともに、その旨をホームページ等で広く周知してください。

遊技場	
博物館等	<p>【延べ床面積 1,000 m²以下】 (法に基づかない働きかけ)</p> <p>営業時間：午前 5 時から午後 8 時まで ※映画館での上映又はイベント開催の場合は午後 9 時まで</p>
	<p>人数上限 5,000 人かつ収容定員 50%以下とする ※イベント開催制限と同じ</p>
遊興施設等	<p>【延べ床面積1,000m²超】 (特措法第24条第 9 項に基づく要請)</p> <p>営業時間：午前 5 時から午後 8 時まで ※生活必需物資・生活必需サービスを除く</p>
物品販売業を営む店舗	
サービス業を営む店舗	<p>(法第45条第 2 項に基づく要請) 例えば人数管理、人数制限、誘導等の、施設に応じた「入場者の整理等」を実施するとともに、その旨をホームページ等で広く周知してください。</p>
	<p>【延べ床面積1,000m²以下】 (法に基づかない働きかけ)</p> <p>営業時間：午前 5 時から午後 8 時まで ※生活必需物資・生活必需サービスを除く</p>

※ 表中の遊興施設のうち、ネットカフェ・漫画喫茶等、夜間の長時間滞在を目的とした利用が相当見込まれる施設は、業種別ガイドラインに基づく感染予防対策が徹底されていることを前提に、営業時間短縮要請の対象外とします。

※ 入場整理の実施、店舗での酒類の終日提供自粛等（酒類の店内持込含む。）及びカラオケ設備の終日提供自粛等にご協力をお願いします。

エ 大規模商業施設に対する要請（特措法第 45 条第 2 項に基づく要請）

- ・施設内外に混雑が生じることがないように、例えば、集客に応じた人数管理、入場制限、誘導などの施設に応じた「入場者の整理等」の徹底をお願いします。また、その旨をホームページ等で広く周知してください。

オ 百貨店に対する要請（特措法第 24 条第 9 項に基づく要請）

- ・政府分科会にて感染リスクが高い場面とされた百貨店の地下食品売り場等について、施設内外に混雑が生じることがないように、集客に応じた人数管理、入場制限、誘導などの施設に応じた「入場者の整理等」の徹底をお願いします。また、その旨をホームページ等で広く周知してください。

カ ガイドラインの遵守等（特措法第 24 条第 9 項に基づく要請）

- ・すべての事業者において、別表で掲げる感染防止対策例や、業界団体等で作成した感染拡大予防ガイドライン等を踏まえながら、適切な感染防止対策の徹底をお願いします。また、感染防止対策をホームページや SNS、店頭での掲示などにより利用者に明示してください。
- ・県独自の「ストップコロナ！対策認定制度」への申請・登録を積極的に進めてください。
- ・業界団体等においては、業種や施設の種別ごとのガイドラインを作成し、所属事業者や関係事業者へガイドラインに沿った感染防止対策の徹底を促すようお願いいたします。
※政府が公表している「業種別ガイドライン」や、本県が示す「各業界・施設毎の感染症対策ガイドライン作成例」を参考としてください。
※業界団体からガイドラインが示されていない業種の事業者や、業界団体等が存在しない業種の事業者についても、上記のガイドラインを参考として、適切な感染防止対策の徹底をお願いします。
- ・高齢者施設や病院等については、感染防止のため直接面会を禁止とするようお願いいたします。また、従事者への適切な感染防止対策の徹底をお願いします。
- ・パブ、ホストクラブ、キャバクラなど接待を伴う飲食店においては、「社交飲食業における新型コロナウイルス感染症拡大予防ガイドライン」を遵守し、当該店舗における感染防止対策をホームページや SNS、店頭での掲示などにより利用者に明示してください。
※「社交飲食業における新型コロナウイルス感染症拡大予防ガイドライン」については、全国社交飲食業生活衛生同業組合の HP を参照してください。

キ 勤務形態等（特措法第 24 条第 9 項に基づく要請）

- ・「新しい生活様式の実践例」を参考に、テレワーク（出勤者の 7 割減を目標）やローテーション勤務、時差通勤、オンライン会議の開催など、人との接触を減らすための取組を実践してください。
- ・特に、緊急事態措置区域等への出勤については、テレワークの活用や休暇取得の促進等により、出勤者数の減少に努めてください。
- ・テレワークの活用等による出勤者数削減の実施状況について、ホームページ等で公表してください。

ク 感染防止対策の徹底（特措法第 24 条第 9 項に基づく要請）

- ・従業員などが体調不良を訴えた場合には、休暇の取得を促し、併せて、速やかな医療機関への受診を促してください。
- ・従業員に対し、会食などで飲食店などを利用する場合は、感染防止ガイドラインなどに基づいて感染防止策を講じているなどの店舗を利用するよう促してください。
- ・接触確認アプリ（COCOA）のインストールや LINE「新型コロナ対策パーソナルサポ

ート」を、従業員やお客様に対して積極的に活用するよう促してください。

- ・感染の恐れのある者を特定できない場合には、まん延を防止する観点から、施設名を自ら公表して利用者に検査や受診を呼びかけること等に協力してください。

(3) イベントの開催について（特措法第24条第9項に基づく要請）

- ・イベントの開催は、下表のとおり制限するよう要請します。

人数上限	収容定員 10,000 人以下の施設	収容定員 10,000 人超の施設
	収容定員の 50%以下まで	5,000 人まで
営業時間	午後9時まで（無観客の場合を除く）	
酒類提供・カラオケ設備	酒類提供及びカラオケ設備の使用をしないこと（飲酒の機会を設けないこと）	

※ 8月20日（金）までにチケット販売を開始していた催物については、人数上限としてこれまでの要請内容を上限とし、キャンセルは不要とします。ただし、8月21日（土）以降は上記目安を超えるチケットの新規販売の停止をお願いします。

- ・祭り、花火大会、野外フェスティバル等で、全国的又は広域的な人の移動が見込まれるものや、参加者の把握が困難なものについては、延期又は中止を含めて慎重に検討・判断してください。開催する場合は、十分な人と人との間隔（1m）を設けることとし、当該間隔の維持が困難な場合は、開催について慎重に判断してください。
- ・盆踊り等の地域の行事で、全国的又は広域的な人の移動が見込まれないものや、参加者がおおよそ把握できるものは、参加人数の制限はありません。適切な感染防止策を講じて開催してください。
- ・イベントの開催にあたっては別表に掲げる適切な感染防止対策の徹底をお願いします。
- ・全国的な移動を伴うイベント又はイベント参加者が1,000人を超えるようなイベントの開催を予定する場合には、そのイベントの感染防止策等について県に事前相談してください。

【別表：適切な感染防止対策例】

※以下に掲げる対策例以外にも、それぞれの施設の状況や営業の形態等に応じ、適切な感染防止のための対策を実践してください。

(別表) 適切な感染防止対策例	
発熱者等の施設への入場防止	・ 来訪者、従業員の検温・体調確認を行い、発熱等の症状がある者や体調不良の者の入場制限(来訪者)、出勤停止(従業員)
	・ 発熱等の症状がある者は、イベントの参加や施設の利用を控える
接触確認アプリの利用	・ 来訪者は、接触確認アプリをインストールをし、事業者は、それを促す
	・ 事業者は、来訪者の連絡先等を把握する(イベント開催の際には徹底すること)
3つの「密」(密閉・密集・密接)の防止	・ 店舗利用者の入場制限、滞在時間の制限を設ける
	・ 十分な座席間隔(四方を開けた席配置等)を確保する
	・ 入退出時、休憩場所、待合場所等での3密の環境を避ける
	・ 換気を行う(可能であれば2つの方向の窓を同時に開ける)
	・ 密集する会議の中止(対面による会議を避け、電話会議やビデオ会議を利用)
飛沫感染、接触感染の防止	・ 来訪者、従業員のマスク着用(熱中症等対策が必要な場合を除く)、手指の消毒、咳エチケット、手洗いの励行
	・ 対面機会の削減(または、ビニールカーテン等の設置)
	・ 大声での会話が発生しない環境作り(利用者への呼びかけ、音響を最小限に設定等)
	・ 店舗・事務所内の定期的な消毒、キャッシュレスの利用
移動時の感染防止	・ ラッシュ対策(時差出勤、自家用車・自転車・徒歩等による出勤の推進)
	・ 従業員数の出勤数の制限(テレワーク等による在宅勤務の実施等)
	・ 出張の中止(電話会議やビデオ会議などを活用)、来訪者数の制限
	・ イベント参加(開催)にあたっては、移動中や移動先での感染防止のための行動を取る(よう呼びかける) ※イベントスタッフにも同様に呼びかける

「新しい生活様式」の実践例

(1) 一人ひとりの基本的感染対策

感染防止の3つの基本：①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗い

- 人との間隔は、**できるだけ2m（最低1m）**空ける。
 - 会話をする際は、可能な限り**真正面を避ける**。
 - 外出時や屋内でも会話をするとき、**人との間隔が十分とれない場合は、症状がなくてもマスクを着用する**。ただし、**夏場は、熱中症に十分注意する**。
 - 家に帰ったらまず**手や顔を洗う**。
人混みの多い場所に行った後は、できるだけすぐに着替える、シャワーを浴びる。
 - 手洗いは30秒程度**かけて**水と石けんで丁寧に洗う**（手指消毒薬の使用も可）。
- ※ 高齢者や持病のあるような重症化リスクの高い人と会う際には、体調管理をより厳重にする。

移動に関する感染対策

- 感染が流行している地域からの移動、感染が流行している地域への移動は控える。
- 発症したときのため、誰とどこで会ったかをメモにする。接触確認アプリの活用も。
- 地域の感染状況に注意する。

(2) 日常生活を営む上での基本的生活様式

- まめに**手洗い・手指消毒** 咳エチケットの徹底
- こまめに換気（エアコン併用で室温を28℃以下に） 身体的距離の確保
- 「**3密**」の**回避（密集、密接、密閉）**
- 一人ひとりの健康状態に応じた運動や食事、禁煙等、適切な生活習慣の理解・実行
- 毎朝の体温測定、健康チェック。発熱又は風邪の症状がある場合はムリせず自宅で療養



(3) 日常生活の各場面別の生活様式

買い物

- 通販も利用
- 1人または少人数ですいた時間に
- 電子決済の利用
- 計画をたてて素早く済ます
- サンプルなど展示品への接触は控えめに
- レジに並ぶときは、前後にスペース

公共交通機関の利用

- 会話は控えめに
- 混んでいる時間帯は避けて
- 徒歩や自転車利用も併用する

娯楽、スポーツ等

- 公園はすいた時間、場所を選ぶ
- 筋トレやヨガは、十分に人との間隔を
もしくは自宅で動画を活用
- ジョギングは少人数で
- すれ違うときは距離をとるマナー
- 予約制を利用してゆったりと
- 狭い部屋での長居は無用
- 歌や応援は、十分な距離かオンライン

食事

- 持ち帰りや出前、デリバリーも
- 屋外空間で気持ちよく
- 大皿は避けて、料理は個々に
- 対面ではなく横並びで座ろう
- 料理に集中、おしゃべりは控えめに
- お酌、グラスやお猪口の回し飲みは避けて

イベント等への参加

- 接触確認アプリの活用を
- 発熱や風邪の症状がある場合は参加しない

(4) 働き方の新しいスタイル

- テレワークやローテーション勤務 時差通勤でゆったりと オフィスはひろびろと
- 会議はオンライン 対面での打合せは換気とマスク

※ 業種ごとの感染拡大予防ガイドラインは、関係団体が別途作成

感染リスクが高まる「5つの場面」

場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事に比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。



場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることもある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。



【別紙1】

○特措法第24条第9項に基づく営業時間短縮の要請を行う施設例

(飲食店等は特措法第45条第2項に基づく休業要請又は時短要請)

1 以下の施設のうち、延べ床面積が1,000㎡を超えるもの

種類	施設例
劇場等	劇場
	観覧場
	プラネタリウム
	映画館
	演芸場
集会場等	集会場
	公会堂
	展示場(住宅展示場については、集客活動を行い、来場を促すもの)
	貸会議室
	文化会館
	多目的ホール
ホテル又は旅館	ホテル(集会の用に供する部分に限る)
	旅館(集会の用に供する部分に限る)
運動施設	体育館
	屋内・屋外水泳場
	ボウリング場
	スケート場
	ゴルフ練習場
	バッティング練習場
	陸上競技場
	野球場
	テニス場
	柔剣道場
	弓道場
	スポーツクラブ
	ホットヨガ、ヨガスタジオ

種類	施設例
博物館等	博物館
	美術館
	科学館
	記念館
	水族館
	動物園
	植物園
遊技場	マーじゃん店
	パチンコ屋
	ゲームセンター
	テーマパーク
	遊園地
<p data-bbox="231 1019 359 1048">遊興施設等</p> <p data-bbox="145 1048 446 1205">※食品衛生法の飲食業許可又は喫茶店営業許可を受けている店舗は、「飲食店等」として特措法第45条第2項に基づく休業要請又は営業時間短縮要請の対象となる。</p> <p data-bbox="145 1205 446 1400">※カラオケ店は、食品衛生法の飲食業許可又は喫茶店営業許可の有無にかかわらず、「飲食店等」として特措法第45条第2項に基づく休業要請又は営業時間短縮要請の対象となる。</p>	キャバレー
	ナイトクラブ
	ダンスホール
	スナック
	バー
	ダーツバー
	パブ
	性風俗店
	デリヘル
	アダルトショップ
	ストリップ劇場
	個室ビデオ店
	射的場
ライブハウス	
場外馬(車・舟)券場	

種類	施設例
物品販売業を営む店舗	ペットショップ(ペットフード売り場を除く)
	ペット美容室(トリミング)
	宝石類や金銀の販売店
	住宅展示場(戸建て、マンション)
	金券ショップ
	古本屋
	おもちゃ屋、鉄道模型屋
	囲碁・将棋盤店
	DVD/ビデオショップ
	DVD/ビデオレンタル
	アウトドア用品、スポーツグッズ店
	ゴルフショップ
	旅行代理店(店舗)
	アイドルグッズ専門店
サービス業を営む店舗	ネイルサロン
	まつ毛エクステンション
	スーパー銭湯
	岩盤浴
	サウナ
	エステサロン
	日焼けサロン
	脱毛サロン
	写真屋
	フォトスタジオ
	美術品販売
	展望室

【別紙2】

○特措法第24条第9項に基づく営業時間短縮の要請を行わない施設例

- 2 別紙1の表に掲げる施設のうち、延べ床面積が1,000㎡以下のもの
 (=特措法に基づかない働きかけ)
- 3 以下の施設

種類	施設例
医療施設	病院
	診療所
	歯科
	薬局
	鍼灸・マッサージ
	接骨院
	整体院
	柔道整復
生活必需物資販売施設	卸売市場
	食料品売り場 ※移動販売店舗を含む
	コンビニエンスストア
	百貨店(生活必需品売場)
	スーパーマーケット
	ホームセンター(生活必需品売場)
	ガソリンスタンド
	靴屋
	衣料品店
	雑貨屋
	文房具屋
	酒屋

種類	施設例
住宅・宿泊施設	ホテル(集会の用に供する部分を除く)
	カプセルホテル
	旅館(集会の用に供する部分を除く)
	民泊
	ウィークリーマンション
	ラブホテル
	コテージ
	貸し別荘
	共同住宅
	寄宿舍
	下宿
交通機関等	バス
	タクシー
	レンタカー
	電車
	船舶
	航空機
	物流サービス(宅配等を含む)
工場等	工場
	作業場
金融機関・官公署等	銀行
	消費者金融
	ATM
	証券取引所
	証券会社
	保険代理店
	事務所
	官公署

種類	施設例
その他	理髪店
	美容院
	銭湯(公衆浴場)※物価統制令の対象となるもの
	貸倉庫
	郵便局
	メディア
	貸衣装屋
	不動産屋
	結婚式場(貸衣装含む) ※食品衛生法の飲食店許可を受けていない店舗 ※食品衛生法の飲食業許可又は喫茶店営業許可を受けている店舗は、「飲食店等」として特措法第45条第2項に基づく営業時間短縮要請の対象となる。
	葬儀場・火葬場
	質屋
	獣医
	ペットホテル
	たばこ屋(たばこ専門店)
	ブライダルショップ
	本屋
	自転車屋
	家電販売店
	園芸用品店
	修理店(時計、靴、洋服等)
	鍵屋
	100円ショップ
	駅売店
	家具屋
	自動車販売店、カー用品店
	花屋
	ランドリー
	クリーニング店
	ごみ処理関係
	神社
寺院	
教会	

種類	施設例
文教施設	幼稚園
	小学校
	中学校
	義務教育学校
	高等学校
	高等専修学校
	高等専門学校
	中等教育学校
	特別支援学校
社会福祉施設等	保育所等(幼保連携型認定こども園を含む)
	学童クラブ
	障害児通所支援事業所
	上記以外の児童福祉法関係の施設
	障害福祉サービス等事業所
	老人福祉法・介護保険法関係の施設
	婦人保護施設
	その他の社会福祉施設
大学等	大学
	専門学校
	専修学校・各種学校
	日本語学校・外国語学校
	インターナショナルスクール
博物館等	図書館
遊興施設等	ネットカフェ
	漫画喫茶
学習塾等	自動車教習所
	学習塾
	オンライン授業
	家庭教師
	英会話教室
	音楽教室
	囲碁・将棋教室
	生け花・茶道・書道・絵画教室
	そろばん教室
	バレエ教室
	体操教室